カラダに優しくちょっぴり贅沢なごほうびはいかが？

小国町産雑穀を活用した雑穀あま酒の開発

土地柄・課題　小国町産「雑穀」の課題解決にむけて

小国町で雑穀の栽培が始まったのは20年程前。栄養価が高く、全国的に美容・健康を意識する方が愛用しているそう。しかし、雑穀栽培は、機械化が進まず手作業が多いこと、また農業者の高齢化が課題となっているそうです。

小国町のショッピングセンター内にある、まちの駅「アスモ」を運営する株式会社いきいき街づくり公社では、小国町の農産物や特産品の販売、商品開発、ホームページを活用した情報発信を行っており、特に、小国町の農産物「雑穀」を活用した商品を多品目化することで、若手農業者への栽培技術の継承と雑穀の耕作面積の拡大、地域の活性化等に繋がるものと期待。これまでに「たかきびソフトクリーム」や「たかきびうどん」、「たかきびミルクジェラート」を開発し、まちの駅「アスモ」やホームページ「おぐにもん」で販売を行ってきました。

今回の新商品開発でも、雑穀商品として既に販売している「雑穀甘酒」に焦点を当て、商品のラインナップを増やしながら更なるブラッシュアップに取り組むことになりました。

連携の経緯　雑穀商品の大切なパートナー

この雑穀甘酒を作るうえで欠かせない存在があります。それは、小国町の雑穀栽培の先駆者であり、㈱いきいき街づくり公社で開発した「たかきびうどん」や「たかきびミルクジェラート」等の雑穀商品の原料生産者でもある、わたなべ農園の渡部茂雄さんです。「小国町産の雑穀を少しでも多くの方に知ってもらいたい」と、今回の開発でも連携先として無農薬・有機栽培の雑穀「たかきび」「もちきび」「黒米」を使用することになりました。また、雑穀甘酒の加工製造では、大正10年創業でフルーツ等の缶・袋物の製造をしている株式会社桜桃園に協力いただくことになりました。

わたなべ農園
渡辺茂雄さん

㈱小国いきいき街づくり公社
事務局 課長 嶌貫速人さん

事業実施体制（事業期間 交付決定日～ H30.9）

〈農林漁業者〉わたなべ農園（雑穀生産）
〈協力事業者〉櫛引農村工業農業協同組合連合会（甘酒製造）
（連携）↓↑　↓↑（協力）
〈中小企業者〉㈱小国いきいき街づくり公社（商品開発、販路開拓）
←→（協力）
〈協力事業者〉桜桃園（甘酒と雑穀のブレンド・瓶詰め）

工夫→成果　問題を乗り越えて生まれ変わる

先行販売していた雑穀甘酒は、もち米と米麹にペースト状にした雑穀をブレンドした、酒粕や砂糖を使わないノンアルコール・ノンシュガータイプで冷凍販売のため、解凍と飲む際にひと手間かかってしまうことや、解凍後の賞味期限が2週間と短期間で、贈答用に不向きであることが問題となっていました。これらの解決のため、製造工程を見直し、県内で甘酒の加工設備が整っている櫛引農村工業農業協同組合連合会に製造を依頼しましたが、雑穀の粒が米のサイズと異なるため製造が難しく、雑穀と甘酒を分けて製造することに。ベースとなる甘酒は連合会の「そのまま飲めるストレート甘酒」を使用し、㈱桜桃園にて雑穀を酵素で糖化したものとブレンドして瓶詰め。こうして、冷蔵保存でそのまま飲むことが可能となり、さらに雑穀を食べたことのない方にもその食感を楽しんでいただけるようになりました。ビン容器やパッケージは、美容と健康を意識した女性向けに、たかきびのピンク・もちきびのイエロー・黒米のブラックという彩豊かな三色のかわいらしいデザインとなり、贈答用としても喜ばれる仕上がりになりました。

今後の課題・展望　数々の課題を乗り越えて

たかきび＝つぶつぶ、もちきび＝ぷちぷち、黒米＝甘み。完成した雑穀甘酒は「つぶつぶのざっ穀を食べるあま酒」として、まちの駅「アスモ」と自社ホームページの他に、県内の道の駅などお土産品として手に取りやすい場所での販売を予定しています。「雑穀は昔の食べ物というイメージが強くありましたが、今ではスーパーフードとして再注目される食品となりました。完成した雑穀甘酒が、自分で買う時はご褒美に、また贈り物としても求められる商品となることで、小国町の雑穀がブランドとして認知され、地域活性につながればと思っています」と、㈱いきいき街づくり公社事務局課長の嶌貫速人さん。その言葉には、雑穀を軸にした地元商品への願いが込められていました。

わたなべ農園のたかきび畑

たかきびうどんは、
つるっとした食感が楽しい商品

事業の今 これから

令和元年12月現在

「販売を開始して、味もデザインも好評でお土産品として購入される方もいらっしゃいました」と嶌貫さん。現在は単品で販売しており「もちきび」が売れ筋とのこと。セット販売の要望もあり、様子を見ながら検討していきたいそうです。また、協力先であった櫛引農村工業農業協同組合連合会にて、現在商品で使用している甘酒の製造が終了となってしまうため、令和2年からの甘酒製造についても検討しながら、ニュータイプの商品開発を進めているとのこと。色とりどりの甘酒は見た目も華やかで、これからの展開がますます楽しみです。

会社概要
株式会社小国いきいき街づくり公社
住　所／〒999-1351 西置賜郡小国町大字小国町163
電　話／0238-61-0055
ホームページ／https://www.ogunimon.com